(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2010-179902
(P2010-179902A)
(43)公開日　平成22年8月19日(2010.8.19)

(51)Int.Cl.	F I	テーマコード（参考）
B64C 27/26 (2006.01)	B64C 27/26	

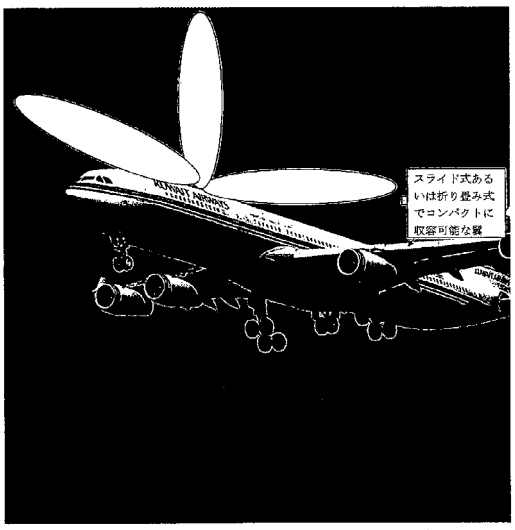
審査請求 未請求　請求項の数 1　書面　（全 3 頁）

(21)出願番号　特願2009-48558(P2009-48558)
(22)出願日　平成21年2月6日(2009.2.6)

(71)出願人　507376598
小池　茂幸
東京都杉並区宮前１－１４－３１
(71)出願人　507376613
小池　佳子
東京都杉並区宮前１－１４－３１
(72)発明者　小池　茂幸
東京都杉並区宮前１－１４－３１
(72)発明者　小池　佳子
東京都杉並区宮前１－１４－３１

(54)【発明の名称】ヘリコプターの翼が１ないし数個付いた飛行機およびその方法

(57)【要約】　（修正有）
【課題】離着陸時には飛行機の翼を畳み、ヘリコプターとして、垂直離着陸を行なう。空中では飛行機の翼を完全に伸ばし、飛行機として飛ぶ。そうする事で、広い飛行場を必要としない、非常に効率的な飛行機を提供する。
【解決手段】飛行機の大きさにより、ヘリコプターの翼を１ないし数個取り付ける事で離着陸時には飛行機の翼を畳み、ヘリコプターとして、垂直離着陸を行なう。空中では飛行機の翼を完全に伸ばし、飛行機として飛ぶ。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
ヘリコプターの翼が１ないし数個付いた飛行機およびその方法
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
ヘリコプターの翼が１ないし数個付いた飛行機およびその方法。
【背景技術】
【０００２】
ヘリコプターの翼が１ないし数個付いた飛行機およびその方法。飛行機の大きさにより、ヘリコプターの翼を１ないし数個取り付ける事で離着陸時には飛行機の翼を畳み、ヘリコプターとして、垂直離着陸を行なう。空中では飛行機の翼を完全に伸ばし、飛行機として飛ぶ。そうする事で、広い飛行場を必要としない、非常に効率的な飛行機となることを特徴とする。
特許電子図書館、及びＪＤＲＥＡＭ２で検索したところ、全く無かった。
【特許文献１】
【特許文献２】
【非特許文献１】
【非特許文献２】
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００３】
ヘリコプターの翼が１ないし数個付いた飛行機およびその方法。飛行機の大きさにより、ヘリコプターの翼を１ないし数個取り付ける事で離着陸時には飛行機の翼を畳み、ヘリコプターとして、垂直離着陸を行なう。空中では飛行機の翼を完全に伸ばし、飛行機として飛ぶ。そうする事で、広い飛行場を必要としない、非常に効率的な飛行機となることを特徴とする。
【課題を解決するための手段】
【０００４】
ヘリコプターの翼が１ないし数個付いた飛行機およびその方法。飛行機の大きさにより、ヘリコプターの翼を１ないし数個取り付ける事で離着陸時には飛行機の翼を畳み、ヘリコプターとして、垂直離着陸を行なう。
【発明の効果】
【０００５】
広い飛行場を必要としない、非常に効率的な飛行機となることを特徴とする。
【発明を実施するための最良の形態】
【０００６】
ヘリコプターの翼が１ないし数個付いた飛行機およびその方法。飛行機の大きさにより、ヘリコプターの翼を１ないし数個取り付ける事で離着陸時には飛行機の翼を畳み、ヘリコプターとして、垂直離着陸を行なう。空中では飛行機の翼を完全に伸ばし、飛行機として飛ぶ。そうする事で、広い飛行場を必要としない、非常に効率的な飛行機となることを特徴とする。
【実施例】
【０００７】
ヘリコプターの翼が１ないし数個付いた飛行機およびその方法。飛行機の大きさにより、ヘリコプターの翼を１ないし数個取り付ける事で離着陸時には飛行機の翼を畳み、ヘリコプターとして、垂直離着陸を行なう。空中では飛行機の翼を完全に伸ばし、飛行機として飛ぶ。そうする事で、広い飛行場を必要としない、非常に効率的な飛行機となることを特徴とする。
実施例は下記に示す。

【産業上の利用可能性】
【０００８】
「ヘリコプターの翼が１ないし数個付いた飛行機およびその方法。飛行機の大きさにより、ヘリコプターの翼を１ないし数個取り付ける事で離着陸時には飛行機の翼を畳み、ヘリコプターとして、垂直離着陸を行なう。空中では飛行機の翼を完全に伸ばし、飛行機として飛ぶ。そうする事で、広い飛行場を必要としない、非常に効率的な飛行機となることを特徴とする。」は産業上の利用可能性は極めて大きい
【図面の簡単な説明】
【０００９】
【図１】実施例として仮想図を示す。

【図１】

